

2025年度
編入学募集要項

社会福祉学部
薬学部

卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針

I. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

九州医療科学大学では、「学生一人ひとりのもつ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する。」の建学の理念、および「国際化社会に向けて、介護・福祉・医療・薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力をもつ人格を陶冶する」という本学の教育目的に基づき、以下の資質・能力を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、各学部学科が定める所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位(学士)を授与します。

- (1) 社会の一員としての自覚と責任をもち、社会の発展に貢献できる。
- (2) 自ら問題を発見し、情報や知識を論理的に分析することを通して、問題を解決できる。
- (3) 目的に応じて他者との意思疎通や他者との協働を円滑かつ適切に行うことができる。
- (4) 専攻する専門分野の内容を理解すると同時に、技能を修得し、それらを実践的能力として活用できる。

II. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

九州医療科学大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。**[教育課程の編成]**

- (1) 教養教育として、グローバルな視野と総合的な判断力を身に付け、豊かな人間性を涵養することを目指す大学共通基礎科目を置く。
- (2) 専門的な知識・方法論・技能を体系的に身に付けるとともに、国家資格等の取得に必要な到達目標を達成できるように専門教育科目を置く。
- (3) 多くの専門科目を学修するための基礎となる科目や個々の専攻分野を超えた学部横断的な科目を置く。
- (4) 修得した知識や技能を総合して、新たな課題の解決に応用できる資質・能力を育成するために卒業研究等の科目を置く。

[教育内容・方法]

- (1) 各授業科目について到達目標、授業計画、成績評価基準・評価方法、事前事後の学修を周知する。
- (2) アクティブ・ラーニングを取り入れた授業については明示し、学生の主体的な学びを実践できるようにする。
- (3) 専門科目では医療・福祉等の現場での実践的な課題を題材として取り上げ、それらの課題解決を実践できるようにする。

[点検・評価]

- (1) 学生一人ひとりが本学での自らの学びの成果を自覚できるように学修成果の可視化に取り組む。
- (2) アセスメント・ポリシーに基づいた厳格な成績評価の実施とともに、多様な評価方法を積極的に取り入れる。
- (3) GPA制度を実施し、教育の質保証に向けての点検・評価・改善を行う。

III. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

九州医療科学大学では、建学の理念とディプロマ・ポリシーの実現を目指し、以下の学生を求めます。

- (1) 福祉・医療・薬学の各分野に興味をもち、人の幸せに貢献したいと思う人。
 - (2) 学修や活動に意欲をもって取り組み、自分にあった学びを見つけていきたいと思う人。
 - (3) 様々なことに関心をもち、多様な人々と協働して学びを深めたいと思う人。
 - (4) 目まぐるしい社会の変化に対応できる能力と自ら選択できる力を身に付けたいと思う人。
 - (5) 他者とのコミュニケーションを大切に、良好な人間関係を構築しようと思う人。
- 本学の求める学生像に沿って、目的意識・意欲、および学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力、および主体性・協働性)を総合的かつ多面的に評価し、選抜します。

社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科

I. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

スポーツ健康福祉学科(以下、「本学科」)では、本学の課程を修め、124単位の単位修得と必修等の条件を充たし、福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者、はり師きゅう師としての基礎学力に加え、人々の生活の質の向上に資する専門知識・技能・態度を修得し、社会に有為な人材として、下記の力を身につけた人に対して学位を授与します。

- (1) 相手を慮り責任を持って行動できる力
福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者およびはり師きゅう師として、対象者がもつ背景や属性、価値観等の多様性を理解し、相手の立場を尊重することができ、地域や多職種との連携・協働を行うことができる。
- (2) 社会や他者に能動的に貢献しようとする姿勢
福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者およびはり師きゅう師として、地域社会の動向をふまえ、福祉、スポーツ・健康運動および医療の現場において必要とされる実践力を身につけ、社会や他者のために自ら積極的に責任ある行動をとることができる。
- (3) 専門的知識・技能の活用力
福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者およびはり師きゅう師として、各領域で必要とされる福祉・健康・運動・医療分野の体系的・相互関連的知識の学修成果を、状況に応じて総合的に活用することができる。
- (4) 問題発見・解決力
福祉専門職、スポーツ・健康運動指導者およびはり師きゅう師として、福祉、スポーツ・健康運動 および医療の現場の諸課題についての問題を発見・理解し、問題解決に必要な論理的・実践的知識および資源を活用することで、問題解決のための実践的方法を選択・実行することができる。

II. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学科は、建学の理念および卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

1. 教育内容

- (1) 共通基礎科目を通して、社会人として基礎的な知識を身につけ、さまざまな場面において必要とされる思考力、洞察力、判断力を養成します。また、支援対象者や協働する多機関、多職種等とスムーズにコミュニケーションを図り、適切な支援に結び

つけるための基礎知識を学びます。

- (2) 社会福祉系科目を通して、福祉社会を担う者として、豊かな人間性と倫理観を身につけ、対人援助者としての使命感、責任感の育成を図ります。地域社会や支援対象者に対して、社会福祉の知識、技術を駆使して、課題の発見から解決方法を導き出していく実践力を身につけます。スペシフィック領域には、スクールソーシャルワークおよび医療ソーシャルワークに関する専門知識、技術について学びを深める科目、福祉の学びの上に保育士、教職、行政職を目指したキャリアデザインを支援する科目を設定しています。
- (3) スポーツ健康専門科目を通して、身心の健康の維持・増進を図り、すべての人々の生活の質の向上に役立てるために必要なスポーツ・健康運動に関する専門知識を修得し、実践力を養成します。
- (4) 鍼灸健康専門科目を通して、東西両医学からみた人体構造・機能の生理的・病理的状态に関する知識、ならびにそれらを基盤とした臨床医学の知識を修得します。実習を通して的確かつ安全な鍼灸治療技術を学び、人々の健康維持増進に貢献できる臨床態度および能力を獲得します。
- (5) 総合科目を通して、社会福祉、スポーツ・健康運動、鍼灸治療分野の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決力を獲得します。

2. 教育方法

- (1) 専門領域の実習科目では、主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 専門教育科目においては、教室外学修の課題を課し、適宜形成的評価のためのフィードバックを行います。
- (3) 社会福祉士やはり師きゅう師、健康運動指導士等の国家資格や認定資格に必要な専門的知識の修得状況を、確認テストの実施によって継続的にモニタリングします。また、学科教員による国家試験・認定試験対策のための時間を開設し、段階を追ったプログラムを実施します。
- (4) チューター教員との面談を適宜に設け、自己の学修成果と学生生活について「ふりかえり」を行います。

3. 教育評価

- (1) 2年生時のGPAおよび2年次までの修得単位数に基準を設け、スポーツ健康福祉学演習、卒業研究を履修する基礎レベルが修得できていることを求めます。
- (2) 4年間の学修成果の評価は卒業研究(必修)によって行い、複数教員によって評価ルーブリックを活用し総合的評価を行います。

III. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学科は卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

1. 求める学生像

- (1) 「皆で生きていく」という共生の意識を持っている人
- (2) 人とふれあうことが好きで、相手の立場に立って物事を考え、行動できる人
- (3) 福祉、スポーツ、東洋医学に興味を持ち、新たな領域に挑戦する意欲と勇気を持っている人

2. 入学までに修得すべき学力・能力

- (1) 高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- (2) 社会福祉、スポーツ・健康運動指導、医療の専門的な知識・技能を学修するための基盤となる文章読解力および表現力(文章を読んでまとめる力)を身につけている。
- (3) 社会福祉、スポーツ・健康運動指導、医療に関する諸課題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を文章および口頭で説明することができる。
- (4) 課外活動・ボランティア活動等の経験があり、他人と協働して活動や学習をすることに進んで参加できる。また、グループワークなどで、他の人と協力しながら、課題をやり遂げることができる。

社会福祉学部 臨床福祉学科

I. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

臨床福祉学科(以下、「学科」という)では、本学の課程を修め、124単位の単位修得と必修等の条件を充たし、福祉現場のニーズに対応できる専門知識・技術を修得し、実践力を備えた福祉・教育人材として、下記の力を身につけた人に対して学位を授与します。

- (1) 社会貢献力
福祉を担う人材として、社会的に課題を抱えた地域・人々に対して貢献することができる。
- (2) 行動力
福祉社会を担う者として、思考力、洞察力、判断力、豊かな人間性と倫理観を身につけ、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。
- (3) 福祉実践力
地域社会や支援対象者に対して、社会福祉の知識・技術を駆使し、課題の発見から解決を導き出していくことができる。
- (4) コミュニケーション能力
社会的に課題を抱えた地域・人々、協働する多機関や多職種等とスムーズにコミュニケーションを図り、適切な支援に結びつけることができる。
- (5) 教育能力
地域社会の福祉力および社会福祉現場の専門性を向上させるための教育をすることができる。
- (6) 研究能力
社会や福祉の現場の課題を的確に把握し、情報を集め、分析し、考察することができる。
- (7) 自己研鑽力
福祉の進歩と改善に対応するため、社会や福祉現場の動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続けることができる。

II. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学科は、建学の理念および卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

福祉専門職に必要な基礎的知識・技能・態度に加えて、福祉現場に対応した実践的能力を

身につけることを目的にカリキュラムを構成しています。
履修系統図およびモデルカリキュラムを示し、個々の学生が目的とする資格取得のための道筋をわかりやすく明示します。

1. 教育内容

- (1) 4年間を通じた学修の基礎となる共通教育においては、必修科目である「QOLと人間の尊厳」を中心に「英語共通」、「情報教育」、「総合教育」、「人間と社会・文化」、「自然科学」、「健康教育」、「基礎演習」の7分野の履修を通して、現代社会における広範な問題の理解のための基本的視点・考え方を学びます。さらにそれらの学びを生かし、自らのキャリアを考えるキャリア教育科目を学びます。
- (2) 「英語共通」、「情報教育」、「総合教育」の3分野では、外国語科目、コンピュータ技術などを通して、情報収集を含むコミュニケーション能力の育成をはかります。
- (3) 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」では、初年次教育を通じ、大学への適応をはかり、大学における基本的な学習スキルの獲得をはかります。
- (4) 1・2年次において、地域における体験活動として「ボランティア活動」、「インターンシップ」の履修を奨励し、積極的に地域へ貢献する学外活動に参加します。
- (5) 入学時のコースで取得可能な資格・免許が取得できるよう、社会福祉士国家試験受験資格・精神保健福祉士国家試験受験資格・介護福祉士国家試験受験資格・高等学校教諭一種免許状(福祉)などの取得に必要な科目を、1年次から体系的・系統的に配置します。また、「スペシフィック科目」を設定し、社会福祉関連領域である医療ソーシャルワーカーやスクールソーシャルワーカーなどに関する専門知識・技術の修得や、福祉の学びの上に保育士、教職、行政職を目指したキャリアデザインを支援する科目を設定しています。
- (6) 国家試験合格に向けて希望者に対する学習機会を設け、各自の能力を分析し、主体的な学習を支援します。
- (7) 社会福祉や教育等の現場で求められる知識・技能の修得のための専門教育科目を、1年次から4年次にかけて体系的・順序性を考えて配置します。
- (8) 「臨床福祉学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「フィールドワーク演習Ⅰ・Ⅱ」および社会福祉・精神保健福祉・介護福祉の演習、実習を通して、地域社会や支援対象者に対して、社会福祉の知識、技術を駆使し、課題の発見から解決能力の育成をはかります。
- (9) 「医療系科目」分野を設定し「精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ」「こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ」「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」などを通して、こころとからだに関する専門的知識を修得します。
- (10) 「臨床福祉学科目」分野を設定し、「福祉住環境論Ⅰ・Ⅱ」、「福祉施設のまちづくり」などの住環境科目、「教育原理」、「発達心理学」、「福祉心理学」などの教育・心理系科目、「芸術療法」、「高齢者・障害者スポーツ実習」などの芸術・スポーツ科目など、社会福祉周辺領域の科目を配置します。

2. 教育方法

- (1) 主体的な学びの力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 「ボランティア活動」「インターンシップ」などの学外活動では、福祉分野のみならず教育分野、環境分野、地域支援などの幅広い分野の中から自らが選択し、活動に参加します。参加時には活動目標を設定し、活動後には報告書を作成し担当の教員が添削します。報告書とともに報告会を実施し、気づきを深めます。
- (3) 資格免許取得のための実習では、事前教育のなかで大学・実習施設・学生の3者で協議する場を設け個々の希望に合わせた実習教育内容を考えます。また、実習施設指導者や当事者を外部講師として招聘し、実習への動機づけを図ります。実習中は定期的に巡回指導を実施し個別の指導を徹底します。事後教育ではグループワークを中心とした実習の振り返りとともに、実習指導者や下級生の前での報告会を開催し、実習の成果を公表します。
- (4) 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの国家資格に必要な専門的知識や能力確認のために、本学教員による国家試験対策のための時間の開設と受験対策の実施、外部テストの受験など、1年次より段階を追ったプログラムを実施します。

3. 教育評価

- (1) 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、高等学校教諭免許(福祉)取得に必要な演習・実習の履修に当たっては、所定の科目の合格を求めます。
- (2) 2年生終了時までの単位の取得状況を評価し、所定の条件を満たした学生には臨床福祉学演習の履修および卒業研究の着手を認めます。
- (3) 4年間の学修成果は卒業研究(必修)によって行い、複数教員によって総合的評価を行います。

III. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

1. 求める学生像

- (1) 人の多様な生き方や考え方を尊重し、また、人の心の痛みに共感できる人
- (2) 支援を必要とする人々の抱える課題やそれを支援することに関心を持っている人
- (3) 社会福祉分野に関心をもち、将来、福祉・教育分野をはじめ、専門性を活かして社会に貢献できる人

2. 入学までに修得すべき学力・能力

- (1) 高校までの教育課程を幅広く修得していること。特に、文章の読解力や論理的思考力を有していること。
- (2) 挨拶やほうれんそう(報告、連絡、相談)などの社会的マナーを身につけていること。
- (3) 課外活動・ボランティア活動等に積極的に参加し、他の人達と協働して活動したり学修する姿勢・意欲を有していること。
- (4) 他者とのコミュニケーションを大切に、積極的にいろいろな人と話す姿勢・意欲を有していること。
- (5) 福祉の動向に関心をもちさらにその内容を深め、自らの考えを述べる能力を有していること。

下記記の資質について、最低限以上の基礎的な力を身につけた者に学位を授与します。

(1) 薬剤師としての倫理観

医療人として高い倫理観と豊かな人間性を持ち、患者、家族、生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために行動できる。

(2) 患者を中心としたチーム医療への参画

常に患者の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療へ参画できる。

(3) 最適な薬物療法の実践

医薬品・化学物質等の生体及び環境に対する影響を理解した上で、適切に管理・供給し、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法を実践できる。

(4) 地域の保健医療への貢献

地域住民の視点に立ち、地域の保健医療のニーズを理解した上で、他職種と連携して人々の健康増進と公衆衛生の向上に貢献できる。

(5) 医療の進歩への貢献

自己研鑽に努め、問題点や社会的動向を把握し、解決に向けて取り組む姿勢を持つとともに、次世代を担う人材の養成を行い、薬学・医療の進歩と改善に貢献できる。

II. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学科は、建学の理念および卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー、以下、DP)に掲げた目標を達成するために、次のような教育課程の編成・実施の方針にて教育を行います。

カリキュラム編成

薬学の専門科目を学ぶにあたり、基礎学力の向上を目指すリメディアル科目を1年生前期に集中して配置し、高度な専門科目にスムーズに移行できるようにカリキュラムを編成しています。専門科目では(DP1)薬剤師としての倫理観の醸成、(DP2)日本語・英語コミュニケーション力の向上、キャリア形成に関する理解および能力、グループ作業における役割の把握と判断力および実行力、(DP3)薬学および医療に関する専門科目の基礎知識と応用力、(DP4)地域の衛生環境の保持および個別化医療への対応力、(DP5)課題の発見と解決までのプロセスを遂行する基礎的な能力、ならびに自主的かつ継続的に学習する能力を養う教育課程を編成しています。

学修内容・方法

薬学の専門領域は物理・化学・生物・数学の様々な知識の集合体であり、基礎的な科学力を身に付けておく必要があります。しかしながら、高校までに履修していない科目もあります。そこで1年次には、まず、薬学の基本的な学問体系を理解するための土台を築く目的で、リメディアル科目を履修し、基礎学力の補完と向上を行います。さらに、専門的基礎的な内容に加え、早くから臨床的な知識に触れるため、臨床系科目も配置しています。1年次後期から4年次は、分析化学、有機・無機化学、生化学等の専門科目を履修することにより、基礎薬学に関連する物理、化学、生物に関する基礎知識を身に付けます。生理・薬理学、臨床検査学等の専門科目を履修することにより、医療薬学に関連する分野を学修します。衛生薬学等の専門科目は、公害や感染症対策等に関わる薬事衛生分野を学修します。薬物治療学等の臨床薬学に関する科目は4年次以降に開始される実務実習において患者・家族の心理・社会的な背景を把握した上で薬物治療を実施するための学修を行います。

その他に、1年次～6年次を通じて、キャリア教育、QOLと人間の尊厳、法規、英語、臨床医学概論等の科目によって社会と薬学とのつながり(薬剤師のキャリアや倫理・使命)に対する意識を涵養します。

4年次後期には、講座・研究室配属が行われ、5年次より薬学研究として特別研究を履修することにより、薬学的課題を発見し、使命感と責任感を持って、研究倫理に則った研究を遂行する資質と基礎的な能力を修得します。その準備段階として、総合学習Ⅰ～Ⅲや漢方治療学演習(選択科目)を履修し、教員が示した課題に対し、シモールグループディスカッション(SGD)などのアクティブラーニングにより課題解決能力を醸成します。なお、課題解決のための英語論文を理解できるようになるために、1～4年次において、必修科目や選択科目として配置されている英語系科目を履修します。

学修成果の評価方法

各授業科目の学修成果の判定は、複数の学習評価を利用します。具体的にはそれぞれのシラバスに記載された方法により評価します。一部の科目については修得の過程も合わせて評価します。リメディアル科目および専門科目では、主に筆記試験や課題レポートを点数化して評価します。総合学習などのグループ作業を伴う科目や特別研究では、課題への取り組み状況や、学習および研究成果発表でのプレゼンテーションと質疑応答ならびに口述試験への対応力についてルーブリック表などを用いて点数化して評価します。ディプロマ・ポリシーに掲げる5つの資質・能力については、定期的な評価を行います。カリキュラムマップに示す各科目には関連するディプロマ・ポリシーの番号が示されており、ディプロマ・ポリシーの番号毎に関連科目の点数やGPAを用いて評価することで、ディプロマ・ポリシーへの到達度を判定します。

III. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学科は、高い倫理観と高度な専門的知識・技能をもった薬剤師を養成することを目的としています。また、旺盛な探求心を有し、協調性と広い視野をもって医療現場や地域の問題を解決できる人材の養成を目標としています。このため、次のような学生を求めています。

1. 求める学生像

- (1) 医療人として、医療現場や地域で活躍するという強い意志・意欲を持った学生
- (2) 医療・薬学に強い興味を持ち、学習意欲が旺盛な学生
- (3) 薬学を学ぶために必要な科学的基礎知識と日本語・外国語の基礎学力を備えた学生
- (4) ひとに対する深い思いやりと優れたコミュニケーション能力を持った学生

2. 入学までに修得すべき学力・能力

専門的な知識・技能を学習するための基盤となる以下の学力・能力。特に、医薬品の構造や人体への影響、生命現象のしくみを理解するための基礎となる化学の知識は重要です。

- (1) 「国語」:文章読解力、コミュニケーション力、表現力。
- (2) 「数学」:数学的思考力、表現力、基礎的な計算力。
- (3) 「理科」:自然科学の総合的理解力、論理的思考力。
- (4) 「英語」:読解力、コミュニケーション力、表現力。
- (5) 「その他」:社会や医療に関する情報の収集能力、表現力、礼節力。

薬学部 薬学科 4年次編入の方の3つのポリシーはこちらの学生便覧で確認ください。



薬学部 薬学科

I. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

薬学科(以下、「本学科」)では、本学の課程を修め、所定の単位を満たし、かつ地域医療や社会の期待に応じて、個々の患者や生活者のニーズに対応できる薬剤師となるために必要

社会福祉学部

1. 学科、募集定員、編入学年次

学 科	募集定員	編入学年次
ス ポ ー ツ 健 康 福 祉 学 科	2名	3年次
臨 床 福 祉 学 科	2名	

2. 出願資格

- (1) 短期大学（外国の短期大学及び、我が国における、外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む。）を卒業した者（2025年3月卒業見込みの者を含む）（法第108条第7項）
 - (2) 高等専門学校を卒業した者（2025年3月卒業見込みの者を含む）（法第122条）
 - (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるものに限り）を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む）（法第132条）
 - (4) 修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者（2025年3月修了見込みの者を含む）（学校教育法施行規則第100条の2）
 - (5) その他、上記と同等の学力があると本学が認めた者
- ※ 大学2年以上を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む）で、62単位以上修得（見込み）している者については転入学となりますので、別途お問い合わせください。

3. 募集日程

区分	出願期間 (消印有効)	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日 (締切日必着)
① 指定 願 校	2024年11月1日(金)) 2024年11月8日(金)	2024年11月16日(土)	2024年12月2日(月)	2024年12月20日(金)
前 期	2024年11月22日(金)) 2024年12月6日(金)	2024年12月14日(土)	2024年12月24日(火)	入学金:2025年1月22日(水) 学費(前期分):2025年2月20日(木)
後 期	2025年1月24日(金)) 2025年2月7日(金)	2025年2月15日(土)	2025年2月25日(火)	2025年3月14日(金)

4. 選考方法および試験時間割

区 分	集 合	小 論 文	面 接
指 定 校	11：00	—	11：15～
前 期 ・ 後 期	12：45	13：00～14：00	14：10～

※ 小論文（800字・100点）は、学部に関連した課題とします。

※ 面接は個人面接（約20分）とします。

5. 試験会場

九州医療科学大学〈宮崎県延岡市吉野町1714-1〉

6. 出願書類等

(1) 志願票（本学所定用紙）

- ・ 願書提出後の志望学科の変更は認めません。
- ・ 願書提出前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面無帽の写真（カラー、縦4cm×横3cm）を必ず志願票に貼ってください。受付後、受験票を送付いたします。

(2) 卒業（見込）証明書

(3) 成績（見込）証明書または単位修得（見込）証明書

(4) 志望理由書（本学所定用紙）

(5) 入学検定料 指 定 校：10,000円（専願）

前期・後期：20,000円

（納入方法については8 ページを参照してください。）

※振込の明細書またはそのコピーを同封してください。

(6) 切手 ※1出願につき385円分

受験票送付のための郵送料 385円分の切手（85円+速達代300円）

注）提出書類の郵送料ではありません。

7. 編入学後の単位認定および取得資格等について

基礎科目・専門教育科目の合計で62単位を上限に認定します。

※ 社会福祉士国家試験受験資格を必要とする者は、社会福祉士国家試験関連科目（36科目64単位）を履修しなければなりません。

※ 臨床福祉学科における、精神保健福祉士国家試験受験資格及び介護福祉士国家試験受験資格については、編入学では取得できません。

※ スポーツ健康福祉学科における、はり師、きゆう師の国家試験受験資格及び高等学校・中学校教諭一種免許状（保健体育）については、編入学では取得できません。

※ 入学後の履修に関しては、個別に指導を行います。

薬学部

1. 学科、募集定員、編入学年次

学 科	定 員	編入学年次	備 考
薬学科	3名	2年次	出願前に必ず御連絡ください。
	3名	4年次	出願前に必ず御連絡ください。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

【2年次編入】

大学の医療系・理科系学部を卒業した者（2025年3月卒業見込みの者を含む）

【4年次編入】

大学の4年制薬学部薬学科（あるいはそれと同等と認められる学科）を卒業した者
（2025年3月卒業見込みの者を含む）

※ 大学の医療系学部、理科系学部、薬学部に2年以上在学し、かつ62単位以上修得している方については転入学となりますので、別途お問い合わせください。

※ 転・編入学については、事前相談が必要となりますので必ず出願前にお問い合わせください。
また、出願前に成績(見込)証明書または単位修得(見込)証明書の提出が必要になります。

【問い合わせ先】

入試広報室 フリーダイヤル (0120) 24-2447

3. 募集日程

区分	出願期間 (消印有効)	入 試 日	合 格 発 表 日	入学手続締切日 (締切日必着)
前 期	2024年11月22日(金)) 2024年12月6日(金)	2024年12月14日(土)	2024年12月24日(火)	入学金:2025年1月22日(水) 学費(前期分):2025年2月20日(木)
後 期	2025年1月24日(金)) 2025年2月7日(金)	2025年2月15日(土)	2025年2月25日(火)	2025年3月14日(金)

4. 選考方法および試験時間割

区 分	集 合	学力試験 ※1	小 論 文※2	面 接※3
前 期 ・ 後 期	12 : 45	13 : 00～14 : 00	14 : 10～15 : 10	15 : 20～

※ 1 学力試験については、次の領域から出題します。

2年次編入……化学、生物

4年次編入……化学、生物、ヒューマニズム・薬学と社会

※ 2 小論文（800字・100点）のテーマは大学で指定します。

※ 3 面接は個人面接（約20分）とします。

5. 試験会場

九州医療科学大学〈宮崎県延岡市吉野町1714-1〉

6. 出願書類等

(1) 志願票等（本学所定用紙）

- ・ 願書提出前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面无帽の写真（カラー、縦4cm×横3cm）を必ず志願票に貼ってください。受付後、受験票を送付いたします。

(2) 卒業（見込）証明書

(3) 成績（見込）証明書または単位修得（見込）証明書

(4) 志望理由書（本学所定用紙）

(5) 入学検定料 20,000円（納入方法については8ページを参照してください。）

※ 振込の明細書またはそのコピーを同封してください。

(6) 切手 ※1出願につき385円分

受験票送付のための郵送料 385円分の切手（85円＋速達代300円）

注）提出書類の郵送料ではありません。

7. 編入学後の単位認定について

提出いただいた単位修得証明書に記載された履修科目の中で、編入学年に応じて履修科目に読み替え可能な科目は本学で修得したものと認め、本学の卒業に必要な単位に加えます。

但し、修得単位数ならびに修得科目等により希望年次への編入学が困難である場合、希望年次より低い年次への編入学となることがあります。

共 通 事 項

1. 出願手続上の諸注意

- (1) 郵送する場合は、所定の封筒に出願書類を封入し、速達簡易書留で送付してください。
- (2) 一度提出した出願書類の返還は認めません。
- (3) 出願に関する電話の問い合わせは、土曜日・日曜日・祝日を除き、9時～17時までとします。

2. 受験上の配慮等の申請について

- (1) 出願受付開始日の1ヶ月前までに入試広報室（フリーダイヤル0120-24-2447）に連絡してください。
- (2) 事前相談では、試験当日の配慮だけでなく、志望学科と入学後の就学・生活環境に支障がないか相談を行います。

3. 災害等の不測の事態への対応について

自然災害や人為災害などにより、受験が困難となった場合は別途お問い合わせください。

4. 受験に関する注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を持参し、定刻までに試験場へ集合してください。
- (2) 試験場に入場後は、受験番号に従って所定の席につき、受験票を机の通路側に置いてください。
- (3) 受験生の試験場への入室は、試験開始後30分を経過した場合は認めません。
- (4) 試験当日、試験会場付近や試験会場内において万が一、不審者や不審物を発見した場合は、入試広報室（フリーダイヤル0120-24-2447）まで連絡してください。

5. 受験生の所持品について

- (1) 試験時間中に使用できるもの
筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、替芯）、時計、眼鏡、ティッシュペーパー、目薬、マスク。なお、ひざかけの使用は認めますが、不正行為防止のため試験開始前に試験監督者へ使用確認をとってください。
- (2) 試験時間中に使用できないものまたは身につけることができないもの
携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）の電子機器類は試験開始前に電源を切り、鞆へ収納していただきます。

6. 不正行為に該当する行為および罰則について

- (1) 不正行為に該当する行為または不正行為とみなす可能性のある行為について
 - ・ 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること。
 - ・ 試験時間中に、許可された筆記用具以外を使用すること。
 - ・ 試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・ 面接試験を終了していない受験者に試験に関する内容を伝えること。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話（スマートフォンを含む）を鳴らすこと。
 - ・ 試験会場において試験監督者の指示に従わないこと。
- (2) 不正行為への罰則について
 - ・ 試験時間中に不正行為が認められた場合、試験監督者が直ちに注意し、試験の中止・退室を指示することがあります。なお、不正行為を行った場合、警察に被害届を提出することがあります。

7. 合格発表および入学手続

- (1) 入試結果については、合格・不合格にかかわらず、各試験の合格発表日に本人宛に郵送で通知するため、到着は翌日以降となります。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。
- (2) 入学手続としては、入学金ならびに学費（前期分）を納入期限まで納入することにより手続は完了します。

◎納入期限

入試区分	入 学 金	学費(前期分)
指定校	2024年12月20日(金)	
前 期	2025年 1月22日(水)	2025年 2月20日(木)
後 期	2025年 3月14日(金)	

※ 原則として本学より発送した納付書を使って、銀行振込で納入してください。

※ 入学金ならびに学費（前期分）が上記の期限内に納入されない場合は、入学辞退として取り扱います。

(3) 入学手続完了者には下記書類を提出していただきます。

◎提出書類

- a. 誓約書（本学所定用紙）
- b. 写真1枚（カラー、縦4cm×横3cm）
- c. 卒業証明書（卒業見込み者は、卒業後、提出）
- d. 成績証明書（卒業見込み者は、卒業後、提出また、大学在学者は、後期試験の成績発表後、提出）

8. 入学辞退について

- (1) 前期・後期入試で合格し、入学を辞退する場合は、学費納入などの入学手続に関係なく、入学辞退届（様式は問いません）に辞退理由を明記の上、九州医療科学大学入試広報室宛に必ず郵送してください。
- (2) 入学手続完了後に入学を辞退し、納付金の返還を希望する者は、2025年3月31日（月）16時までに所定の申請書により願い出てください。返還申請書・入学辞退届を確認後、入学金以外の学費（前期分）を返還する処置をとります。（手数料受取人負担）

※ 指定校入試で合格の場合は、入学辞退はできません。

※ 上記の日時まで返還申請書と入学辞退届の提出がなかった場合、返還できませんので注意してください。

※ 返還申請書は、合格発表時発送の「入学手続の手引」に綴じ込んであります。

※ 入学辞退届だけでは返還に応じられませんので、必ず返還申請書も提出してください。

※ 返還申請書をいったん提出された後は、いかなる理由があっても取り消しはできません。

※ 返還につきましては、返還申請書受理後1ヶ月程度かかります。

9. 学費（2025年度）

◎社会福祉学部（スポーツ健康福祉学科、臨床福祉学科） 3年次編入

入学金 300,000円

(円)

費 目	前 期	後 期	合 計
授 業 料	4 2 6,5 0 0	4 2 6,5 0 0	8 5 3,0 0 0
施 設 設 備 費	1 7 5,0 0 0	1 7 5,0 0 0	3 5 0,0 0 0
合 計	6 0 1,5 0 0	6 0 1,5 0 0	1,2 0 3,0 0 0

※ 入学金は初年度のみ

※ 学費は次年度も同額です。

◎薬学部（薬学科） 4年次編入

入学金 300,000円

(円)

費 目	前 期	後 期	合 計
授 業 料	7 8 8,0 0 0	7 8 8,0 0 0	1,5 7 6,0 0 0
施 設 設 備 費	2 6 0,0 0 0	2 6 0,0 0 0	5 2 0,0 0 0
合 計	1,0 4 8,0 0 0	1,0 4 8,0 0 0	2,0 9 6,0 0 0

※ 入学金は初年度のみ

※ 学費は次年度以降も同額です。

◎薬学部（薬学科） 2年次編入

入学金 300,000円

(円)

費 目	前 期	後 期	合 計
授 業 料	575,000	575,000	1,150,000
施 設 設 備 費	175,000	175,000	350,000
合 計	750,000	750,000	1,500,000

※ 入学金は初年度のみ

※ 学費は次年度以降も同額です。

※ 実験実習費として5年次に300,000円を学費とともに徴収します。

10. オリエンテーション等について

オリエンテーションおよび入学式については、入学手続完了者全員に「入学の案内」を送付しますので、よく読んで指示に従ってください。

11. 奨学金について

奨学金については、日本学生支援機構他各種ありますのでお問い合わせください。

問い合わせ先

スチューデントサポートセンター学生部学生課 TEL (0982) 23-5576 (直)

12. 入学検定料について

指 定 校 入 試：10,000円

前 期・後 期 入 試：20,000円

銀行備付の「(電信扱) 振込依頼票」を使用し、銀行振込により納入してください。

《振込先》 三井住友銀行 岡山支店 普通預金 7327287

《口座名》 学校法人 ガク 順正学園 ジュンセイガクエン

【注意】

(1) 必ず志願者本人の名前で振り込んでください。

また、氏名の前に下表から選択した7桁のコード番号の数字（入試区分3桁+志望学科4桁）を必ず記入してください。

(2) 振込手数料は志願者が負担してください。

(3) 既納の入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

入試区分：受験する入試区分のコード番号を
下表により選択してください。

〈社会福祉学部〉

入試区分	コード
指 定 校	471
前 期	472
後 期	473

〈薬学部〉

希望編入年次	入試区分	コード
4 年 次	前 期	475
	後 期	476
2 年 次	前 期	478
	後 期	479

+

志望学科：志望する学科のコード番号を下表により選択
してください。

〈社会福祉学部〉

学部・学科	コード
社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科	4118
社会福祉学部 臨床福祉学科	4218

〈薬学部〉

学部・学科	コード
薬学部 薬学科	3118

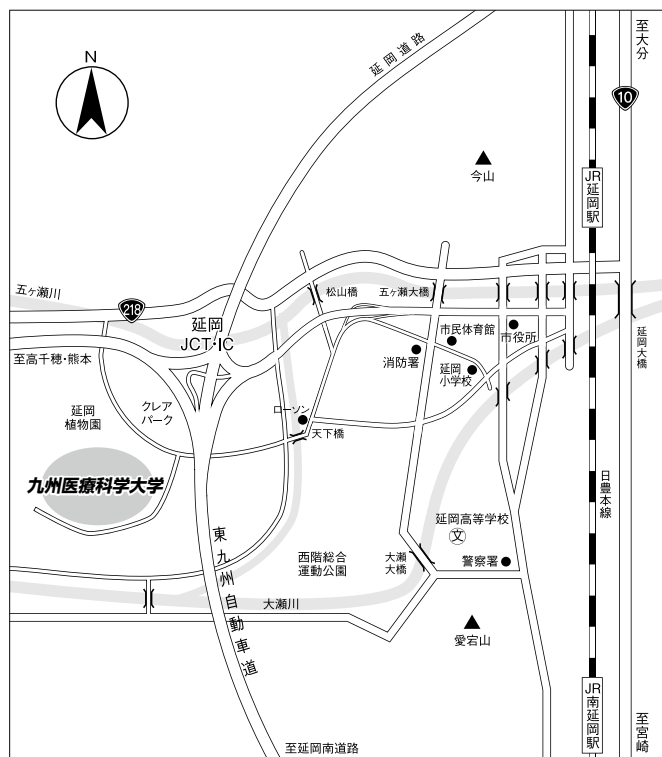
個人情報の取り扱いについて

本学では、資料請求や出願書類の受付などにより得た「個人情報」を、入学試験の可否発表の資料として利用することは当然ですが、合格者への入学手続及び入学に関連した案内発送などにも利用させていただきます。

また、不合格者ならびに入学辞退者の「個人情報」は、一定期間保管・管理した後に適切に削除いたします。

なお、本学を運営する順正学園では、各設置校が保有する「個人情報」の適正な収集、利用、管理、保護を目的とする「順正学園個人情報保護規程」を法律施行と同時に制定し、個人情報の保護に努めております。

九州医療科学大学 案内図



●九州医療科学大学 — JR延岡駅 約20分(7.1km)

学校法人 順正学園

九州医療科学大学 入試広報室

〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町1714-1

TEL(0982)23-5544(直通) フリーダイヤル(0120)24-2447

FAX(0982)23-5540

E-mail:kouhou@phoenix.ac.jp